

主催 全国商業高等学校長協会・財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会

## 第26回 (平成22年度) 全国高等学校簿記コンクール問題 (第1部)

### 注 意 事 項

- (1) 答案は、すべて答案用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。  
なお、物品の貸借はしないこと。
- (3) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (4) 答案作成にあたっては、鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。  
なお、訂正印は省略する。

1

(40点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	受取手形	不渡手形	売掛金
貸倒引当金	有価証券	未着商品	積送品	貸付金
未収金	建物	構築物	土地	建設仮勘定
特許権	鉱業権	のれん	子会社株式	支払手形
買掛金	仮受金	未払社債利息	未払配当金	保証債務
社債	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金
新築積立金	繰越利益剰余金	売上	受取利息	雑益
固定資産売却益	仕入	貸倒償却	支払手数料	鉱業権償却
社債利息	手形売却損	有価証券評価損	売上割引	保証債務費用
雑損	子会社株式評価損	土佐支店	須崎支店	安芸支店
試用品	試用仮売上	損益		

- (1) 愛媛商店は決算につき現金勘定の残高 ¥313,880 の内訳を調査したところ、通貨のほかに次のものをすべて現金として記帳していることが判明したので訂正した。また、通貨の実際有高は ¥48,380 であり、現金勘定を修正した。
- |           |         |         |         |       |         |
|-----------|---------|---------|---------|-------|---------|
| 期限到来の社債利札 | ¥10,300 | 自己振出小切手 | ¥95,000 | 送金小切手 | ¥20,000 |
| 他人振出小切手   | ¥80,000 | 船荷証券    | ¥60,000 |       |         |
- (2) 神奈川鉱業株式会社は、所有する鉱区から当期に 14,000 トンの採掘量があったので、生産高比例法を用いて、この鉱区に対する鉱業権を償却した。なお、前期は採掘量が 12,000 トンであり、鉱業権を ¥2,400,000 償却している。
- (3) 山梨商店に商品 300 個 (原価 @ ¥15,800) を原価の 12% 増しで売り渡し、代金のうち 3分の1 を掛けとしていたが、本日、この掛代金を期日前に受け取ることになり、契約により 1% の割引をした金額を現金で受け取った。
- (4) 札幌物産株式会社は、北南商事株式会社の発行済株式数の 3分の2 を所有し、実質的に支配しているが、所有する同社の株式 20,000 株 (1株の帳簿価額 ¥754) を実質価額によって評価替えした。なお、北南商事株式会社の資産総額は ¥24,030,000 負債総額は ¥16,710,000 である。
- (5) 株式会社石川商事は決算にあたり、仮受金 ¥322,000 を整理した。
- |                    |            |                          |          |
|--------------------|------------|--------------------------|----------|
| ア 貸付金              | ¥3,600,000 | (12か月の元金均等返済契約) の1か月分返済額 | ¥312,000 |
| イ 不用となった古雑誌などの売却代金 | ¥10,000    |                          |          |
- (6) 得意先東西商店が倒産し、同店に対する売掛金 ¥120,000 と、不渡手形 ¥150,000 が回収不能となった。なお、売掛金はすべて前期販売分、不渡りとして処理した受取手形は当期販売分であり、貸倒引当金の残高は ¥80,000 である。また、試用販売として同店に試送していた商品 ¥200,000 を回収した。ただし、商品を試送したさい、次の仕訳によって備忘記録がしてある。
- |          |         |            |         |
|----------|---------|------------|---------|
| (借方) 試用品 | 200,000 | (貸方) 試用仮売上 | 200,000 |
|----------|---------|------------|---------|
- (7) かねて、宮崎商店に対する売掛金の回収として、当店受け取り、宮崎商店あての為替手形 ¥320,000 を振り出し、同店の引き受けを得ていたが、本日、この手形を取引銀行で割引き、割引料を差し引かれた手取金 ¥290,000 は当座預金とした。なお、保証債務の時価は手形額面金額の 5% とした。
- (8) 山形電器製作株式会社 (決算年 1回 3月31日) は、所有している特許権を平成 22年 4月 1日に岩手電器製作所に ¥7,000,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。ただし、この特許権は平成 19年 11月 10日に ¥9,600,000 で取得したものであり、耐用年数 8年により、月割りで償却していた。
- (9) 福岡商事株式会社は、大分建設株式会社に広告塔の建設を依頼していたが、本日完成し、引き渡しを受けた。代金については、用地取得のさいに要した費用 ¥1,300,000 と合わせた ¥5,800,000 を小切手を振り出して支払った。
- (10) 北海道商店に対する売掛金 ¥272,000 について、当店の当座預金口座に振り込まれたむねの通知をうけた。なお、振込手数料 ¥630 は当店の負担であるため、差し引かれた金額が振り込まれている。

- (11) 決算にあたり、売買目的で保有する次の有価証券を時価によって評価した。なお、評価益と評価損は相殺して示すこと。

	株数	1株の帳簿価額	1株の時価
A株式	120株	¥300,000	¥310,000
B株式	60株	¥78,000	¥90,000
C株式	150株	¥230,000	¥200,000

- (12) 本店集中計算制度を採用している高知商店の本店は、土佐支店が須崎支店の売掛金 ¥500,000と安芸支店の売掛金 ¥300,000および本店の売掛金 ¥200,000を現金で回収したとの通知を受けた。(本店の仕訳)

- (13) 次の条件で社債を発行している広島商事株式会社(決算年1回)は、決算日である平成22年6月30日に社債利息 ¥69,600を計上した。なお、この社債利息は利息の未払分を月割り計算により計上した金額と、償却原価法(定額法)により計上した金額の合計である。

発行条件

発行日 平成19年4月1日 払込金額 @¥98.70 償還期限 10年  
 利率 年1.8% 利払い 年2回(3月末・9月末)

- (14) 島根商店は、岡山商店に原価の20%増しの価格で販売を委託していたが、本日、売上計算書とともに手取金 ¥360,000を現金で受け取った。よって、売上高 ¥360,000を計上するとともに、売上原価を仕入勘定に振り替えた。なお、この取引を処理する前の同店に対する積送品勘定残高は ¥360,000であったが、この取引により販売を委託している残りの商品は ¥60,000(販売価格)となった。

- (15) 和歌山商店(個人企業)は確定申告をおこない、本年度の所得税額 ¥611,000のうち、さきに支払った予定納税額(第1期分 ¥194,000 第2期分 ¥194,000)を差し引き、残額を店の現金で納付した。

- (16) 期首に倉庫が完成し、引き渡しを受けたので、すでに支払ってある金額を差し引き、残額 ¥10,000,000を小切手を振り出して支払い、同時に新築積立金 ¥30,000,000を取り崩した。ただし、この固定資産に対する1年目の減価償却費(定額法 耐用年数20年 残存価額0)は、定率法によって計算した場合の減価償却費(償却率12.5%)より ¥3,750,000少額になる。

- (17) 愛知商店は、次の資料に基づき、第8期末の売上債権 ¥700,000に対する貸倒引当金を差額補充法により計上した。ただし、同店は過去2年分の貸倒発生率の平均値を用いて貸倒引当金を計上している。なお、各期の貸倒発生率は、期中に発生した貸倒額をその期の売上債権の期首残高で割ることにより求めること。

売上債権の期首残高

第6期 ¥500,000(うち ¥10,000が第6期中に貸し倒れとなっている)  
 第7期 ¥800,000(うち ¥48,000が第7期中に貸し倒れとなっている)  
 第8期 ¥900,000(うち ¥18,000が第8期中に貸し倒れとなっている)

- (18) 長崎食品工業株式会社は、次の資産・負債のある北西商店を吸収合併し、同社の株主に対して新株60株(@ ¥50,000 全額資本金に計上)を交付した。なお、合併直前の長崎食品工業株式会社の資産総額は ¥20,000,000 負債総額は ¥8,000,000 であるが、合併直後の長崎食品工業株式会社の自己資本比率に変化はなかった。

受取手形 ¥1,350,000 売掛金 ¥1,450,000 建物 ¥1,500,000  
 支払手形 ¥ 買掛金 ¥1,200,000

- (19) 岐阜商事株式会社の決算および株主総会の決議は、次のとおりである。

- ① 平成22年3月31日 第6期決算の結果、当期純利益 ¥2,500,000を計上した。ただし、繰越利益剰余金勘定の貸方残高が ¥500,000ある。
- ② 平成22年6月30日 株主総会の決議により、繰越利益剰余金およびその他資本剰余金から剰余金の配当 ¥4,000,000をおこなうことを決議した。また、配当にともない ¥400,000を準備金として計上した。なお、繰越利益剰余金勘定の貸方残高は ¥250,000となる。

2 (18点)

群馬商店の6月30日の取引について記入された次の略式の伝票・売掛金明細表・受取手形記入帳によって、仕訳集計表を完成しなさい。

- ただし、i 仕入・売上の各取引は、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。  
 ii 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。  
 iii 各伝票の( )は売掛金明細表・受取手形記入帳および答案用紙の仕訳集計表により各自推定すること。

<b>入金伝票</b>		<b>出金伝票</b>		<b>売上伝票</b>	
当座預金 ( )		買掛金(佐賀商店) 385,000		奈良商店 348,500	
受取利息 1,000		当座預金 150,000		富山商店(戻り) 70,000	
売掛金(奈良商店) ( )		買掛金(山口商店) 308,200		沖縄商店 360,000	
当座預金 549,000		支払利息 21,000		香川商店 402,500	
当座預金 175,000		当座預金 ( )		鳥取商店 ( )	
受取手数料 ( )		買掛金(長野商店) 206,800		京都商店 940,000	
売掛金(鳥取商店) 187,500		営業費 ( )		富山商店(値引) 5,000	
				富山商店 612,000	

<b>振替伝票(借方)</b>		<b>振替伝票(貸方)</b>		<b>仕入伝票</b>	
買掛金(埼玉商店) 159,000		当座預金 159,000		福島商店(値引) 29,700	
当座預金 38,000		受取手数料 38,000		山口商店 418,600	
受取手形 ( )		売掛金(富山商店) ( )		大阪商店 230,400	
営業費 76,000		当座預金 76,000		佐賀商店 427,000	
当座預金 ( )		前受金 ( )		鹿児島商店 292,400	
備品 ( )		当座預金 ( )		長野商店 686,200	
( ) ( )		( ) ( )		埼玉商店(戻し) 26,500	
当座預金 360,000		売掛金(香川商店) 360,000			
当座預金 315,000		売掛金(沖縄商店) 315,000			
買掛金(福島商店) ( )		当座預金 ( )			
買掛金(鹿児島商店) ( )		売掛金(富山商店) ( )			
当座預金 130,000		受取手形 130,000			

売掛金明細表		
	6月29日	6月30日
富山商店	¥ 200,000	¥ 125,000
京都商店	34,000	974,000
奈良商店	600,000	587,250
鳥取商店	400,000	572,500
香川商店	123,000	165,500
沖縄商店	150,000	195,000
	<u>¥1,507,000</u>	<u>¥2,619,250</u>

受取手形記入帳

平成22年	摘要	金額	手形種類	手形番号	支払人	振出人または裏書人	振出日	満期日	支払場所	てん末				
										月	日	摘要		
5	30 売 上	130,000	約手	8	奈良商店	奈良商店	5	30	6	30	全商銀行奈良支店	6	30	回収
	30 売 上	90,000	約手	10	北東商店	北東商店	5	30	6	30	全商銀行本店	6	30	更改
6	30 受取手形	90,000	約手	14	北東商店	北東商店	6	30	7	31	全商銀行本店			
	30 売 掛 金	186,000	約手	17	富山商店	富山商店	6	30	7	31	全商銀行富山支店			

### 3 (42点)

宮城商店では、普通仕訳帳のほかに、特殊仕訳帳として当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。よって、次の1月中の取引を仕訳帳に記入するとともに、総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳に転記し、残高試算表を作成しなさい。

- ただし、
- i 特殊仕訳帳の摘要欄には、転記に必要な商店名だけを記入すればよい。
  - ii 普通仕訳帳の小書きは、売掛金元帳・買掛金元帳に転記する必要があるときに商店名を記入すればよい。
  - iii 総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。
  - iv 特殊仕訳帳は月末に締め切り、合計転記は特殊仕訳帳から直接おこなうこと。

#### 取 引

- 1月 6日 秋田商店に商品¥504,000を売り渡し、代金のうち¥428,400は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。残額は同店振り出しの約束手形で受け取った。なお、先方負担の発送費用¥11,550は現金で支払った。
- 7日 茨城商店に対する買掛金¥277,840を小切手を振り出して支払った。
- 8日 栃木商店から商品¥856,233を仕入れ、代金のうち¥128,500は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 9日 栃木商店から仕入れた上記商品のうち¥97,230を品違いのため返品した。
- 10日 従業員から預かっていた所得税額¥48,650を小切手を振り出して納付した。
- 13日 秋田商店に商品¥963,270で売り渡し、代金のうち¥481,700は同店振り出し、当店あての約束手形で受け取り、残額は掛けとした
- 16日 兵庫商店振り出し、当店あての約束手形¥632,450が期日になり、当座預金口座に振り込まれたむねの通知を受けた。
- 17日 事務用のパーソナルコンピュータ¥389,200を購入し、代金のうち¥48,650は小切手を振り出して支払い、残額は翌月より毎月末に¥48,650支払うことにした。(取引の全部をいったん普通仕訳帳に記入する)
- 18日 岩手商店に商品¥836,745を売り渡し、代金のうち¥370,000は当店発行の商品券で受け取り、残額は掛けとした。
- 19日 岩手商店に売り渡した上記商品について¥25,100の値引きを承諾した。
- 20日 秋田商店に対する売掛金¥255,680を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- 23日 当月分のインターネットの接続代金¥19,425が、当座預金口座から引き落とされた。
- 25日 本月分の給料¥515,690から所得税額¥47,600を差し引き、残額は小切手を振り出して支払った。(当座預金出納帳だけで処理する)
- 26日 茨城商店から商品¥461,580を仕入れ、代金はさきに支払ってある内金¥61,580を差し引き、残額は得意先岩手商店あての為替手形を振り出し、同店の引き受けを得て茨城商店に渡した。なお、当店負担の引取費¥24,444は現金で支払った。
- 31日 経営コンサルタントに経営指導を受ける契約を締結し¥262,500を小切手を振り出して支払った。

# 第26回（平成22年度）第1部〔答案用紙〕

番号		氏名	
----	--	----	--

<b>1</b>	
得点	

<b>2</b>	
得点	

<b>3</b>	
得点	

1部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

1

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

	借 方	貸 方
(8)		
(9)		
(10)		
(11)		
(12)		
(13)		
(14)		

番号		氏名	
----	--	----	--



		借	方	貸	方
(15)					
(16)					
(17)					
(18)					
(19)	①				
	②				

<b>1</b>	
得点	

2

## 仕 訳 集 計 表

平成22年6月30日

借	方	平	勘 定 科 目	平	貸	方
			現 金			
1,626,000			当 座 預 金			1,847,400
276,000			受 取 手 形			
			売 掛 金			1,910,750
340,000			備 品			
1,799,600			買 掛 金			
			前 受 金			203,000
			売 上			
			受 取 手 数 料			70,000
			受 取 利 息			
			仕 入			
108,900			営 業 費			
			支 払 利 息			

2

得点

当座預金出納帳

平 22 年	勘定科目	摘要	元 子	売掛金	諸 口	平 22 年	勘定科目	摘要	元 子	買掛金	諸 口

仕入帳 1

売上帳 1

平 22 年	勘定科目	摘要	元 子	買掛金	諸 口

平 22 年	勘定科目	摘要	元 子	売掛金	諸 口

普通仕訳帳

平 22 年	摘要	元 子	借 方	貸 方
1 1	前期繰越高	✓	5,127,510	5,127,510

総勘定元帳

現金 1 1/1 前期繰越 807,388	当座預金 2 1/1 前期繰越 1,478,956	受取手形 3 1/1 前期繰越 758,940
売掛金 4 1/1 前期繰越 437,850	繰越商品 5 1/1 前期繰越 165,416	前払金 6 1/1 前期繰越 272,440
備品 7 1/1 前期繰越 1,206,520	支払手形 8 1/1 前期繰越 574,070	買掛金 9 1/1 前期繰越 729,750
未払金 10 1/1 前期繰越 214,060	商品券 11 1/1 前期繰越 389,000	所得税預り金 12 1/1 前期繰越 48,650
資本金 13 1/1 前期繰越 3,171,980	売上 14	仕入 15
給料 16	支払手数料 17	通信費 18

売掛金元帳

秋田商店 1 1/1 前月繰越 291,898
岩手商店 2 1/1 前月繰越 145,952

買掛金元帳

栃木商店 1 1/1 前月繰越 340,553
茨城商店 2 1/1 前月繰越 389,197

残高試算表

平成22年1月31日

借方	元丁	勘定科目	貸方
	1	現金	
	2	当座預金	
	3	受取手形	
	4	売掛金	
	5	繰越商品	
	6	前払金	
	7	備品	
	8	支払手形	
	9	買掛金	
	10	未払金	
	11	商品券	
	12	所得税預り金	
	13	資本金	
	14	売上	
	15	仕入	
	16	給料	
	17	支払手数料	
	18	通信費	

3

得点

## 第26回（平成22年度）第1部〔審査基準〕

<b>1</b>	2点×20=40点
得点	

<b>2</b>	2点×9=18点
得点	

<b>3</b>	3点×14=42点
得点	

1部	100点
総得点	

	借 方	貸 方
(1)	当座預金 95,000 未着商品 60,000 雑損 200	現金 155,200
(2)	鉱業権償却 2,800,000	鉱業権 2,800,000
(3)	現金 1,751,904 売上割引 17,696	売掛金 1,769,600
(4)	子会社株式評価損 10,200,000	子会社株式 10,200,000
(5)	仮受金 322,000	貸付金 300,000 受取利息 12,000 雑益 10,000
(6)	貸倒引当金 80,000 貸倒償却 190,000 試用仮売上 200,000	売掛金 120,000 不渡手形 150,000 試用品 200,000
(7)	当座預金 290,000 手形売却損 30,000 保証債務費用 16,000	受取手形 320,000 保証債務 16,000

	借 方	貸 方
(8)	未 収 金 7,000,000	特 許 権 6,700,000 固 定 資 産 売 却 益 300,000
(9)	構 築 物 4,500,000 土 地 1,300,000	当 座 預 金 5,800,000
(10)	当 座 預 金 271,370 支 払 手 数 料 630	売 掛 金 272,000
(11)	有 価 証 券 評 価 損 2,580,000	有 価 証 券 2,580,000
(12)	土 佐 支 店 1,000,000	須 崎 支 店 500,000 安 芸 支 店 300,000 売 掛 金 200,000
(13)	社 債 利 息 69,600	社 債 15,600 未 払 社 債 利 息 54,000
(14)	現 金 360,000 仕 入 310,000	売 上 360,000 積 送 品 310,000

		借 方	貸 方
(15)		資 本 金 223,000	現 金 223,000
(16)		建 物 50,000,000 新 築 積 立 金 30,000,000	建 設 仮 勘 定 40,000,000 当 座 預 金 10,000,000 繰 越 利 益 剰 余 金 30,000,000
(17)		貸 倒 償 却 10,000	貸 倒 引 当 金 10,000
(18)		受 取 手 形 1,350,000 売 掛 金 1,450,000 建 物 1,500,000 の れ ん 700,000	支 払 手 形 800,000 買 掛 金 1,200,000 資 本 金 3,000,000
(19)	①	損 益 2,500,000	繰 越 利 益 剰 余 金 2,500,000
	②	繰 越 利 益 剰 余 金 2,750,000 そ の 他 資 本 剰 余 金 1,650,000	未 払 配 当 金 4,000,000 利 益 準 備 金 250,000 資 本 準 備 金 150,000

<b>1</b>	2 点 × 20 = 40 点
得点	



2

## 仕 訳 集 計 表

平成22年6月30日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
1,595,750		現 金		1,533,900
1,626,000		当 座 預 金		1,847,400
276,000		受 取 手 形		220,000
3,023,000		売 掛 金		1,910,750
340,000		備 品		
1,799,600		買 掛 金		2,054,600
		前 受 金		203,000
75,000		売 上		3,023,000
		受 取 手 数 料		70,000
		受 取 利 息		1,000
2,054,600		仕 入		56,200
108,900		営 業 費		
21,000		支 払 利 息		
10,919,850				10,919,850

2

得点

2点×9=18点

当座預金出納帳

平成22年	成年	勘定科目	摘要	円	売掛金	諸口	平成22年	成年	勘定科目	摘要	円	買掛金	諸口
1	6	売上		✓		428,400	1	7	買掛金	茨城商店	買?	277,840	
	16	受取手形		3		632,450		8	仕入		✓		128,500
	20	売掛金	秋田商店	売	255,680			10	所得税預り金		12		48,650
	25	所得税預り金		12		47,600		17	備品		✓		48,650
								23	通信費		18		19,425
								25	給料		16		515,690
								31	支払手数料		17		262,500
					255,680	1,108,450						277,840	1,023,415
	31			4		255,680		31			9		277,840
	"			2		1,364,130		"			2		1,301,255
		前月繰越		✓		1,478,956			次月繰越		✓		1,541,831
						2,843,086							2,843,086

仕入帳

平成22年	成年	勘定科目	摘要	円	買掛金	諸口
1	8	当座預金		✓		128,500
		買掛金	栃木商店	買1	727,733	
	9	買掛金	栃木商店	買1	97,230	
	26	前払金		6		61,580
		売掛金	岩手商店	4/売2		400,000
		現金		1		24,444
					727,733	614,524
	31			9		727,733
	"			15		1,342,257
	"			9/15		97,230
						1,245,027

売上帳

平成22年	成年	勘定科目	摘要	円	売掛金	諸口
1	6	当座預金		✓		428,400
		受取手形		3		75,600
	13	受取手形		3		481,700
		売掛金	秋田商店	売1	481,570	
	18	商品券		11		370,000
		売掛金	岩手商店	売2	466,745	
	19	売掛金	岩手商店	売2	25,100	
					948,315	1,355,700
	31			4		948,315
	"			14		2,304,015
	"			14/4		25,100
						2,278,915

(注) 純売上高の2,278,915は、上部に単線、下部に複線がなければならない。

普通仕訳帳

平成22年	成年	摘要	円	借方	貸方
1	1	前期繰越高	✓	5,127,510	5,127,510
	6	(売掛金)	4/売1	11,550	
		(現金)	1		11,550
		秋田商店			
	17	(備品) 諸口	7	389,200	
		(当座預金)	✓		48,650
		(未払金)	10		340,550

総勘定元帳

現 金 1		当座預金 2		受取手形 3	
1/1前期繰越	807,388	1/6	11,550	1/1前期繰越	1,478,956
		26	24,444	31	1,364,130
				1/1前期繰越	758,940
				6	75,600
				13	481,700
売掛金 4		繰越商品 5		前払金 6	
1/1前期繰越	437,850	1/26	400,000	1/1前期繰越	272,440
6	11,550	31	255,680	1/26	61,580
31	948,315	"	25,100		
備品 7		支払手形 8		買掛金 9	
1/1前期繰越	1,206,520	1/1前期繰越	574,070	1/31	277,840
17	389,200			"	97,230
				1/1前期繰越	729,750
				31	727,733
未払金 10		商品券 11		所得税預り金 12	
		1/18	370,000	1/10	48,650
				1/1前期繰越	48,650
				25	47,600
資本金 13		売上 14		仕入 15	
		1/31	25,100	1/31	1,342,257
				1/31	97,230
給料 16		支払手数料 17		通信費 18	
1/25	515,690	1/31	262,500	1/23	19,425

売掛金元帳

秋田商店 1	
1/1前期繰越	291,898
6	11,550
13	481,570
	1/20
	255,680
岩手商店 2	
1/1前期繰越	145,952
18	466,745
	1/19
	25,100
	26
	400,000

買掛金元帳

栃木商店 1	
1/9	97,230
	1/1前期繰越
	340,553
	8
	727,733
茨城商店 2	
1/7	277,840
	1/1前期繰越
	389,197

残高試算表

平成22年1月31日

借方	元丁	勘定科目	貸方
771,394	1	現金	
1,541,831	2	当座預金	
683,790	3	受取手形	
716,935	4	売掛金	
165,416	5	繰越商品	
210,860	6	前払金	
1,595,720	7	備品	
	8	支払手形	574,070
	9	買掛金	1,082,413
	10	未払金	554,610
	11	商品券	19,000
	12	所得税預り金	47,600
	13	資本金	3,171,980
	14	売上	2,278,915
1,245,027	15	仕入	
515,690	16	給料	
262,500	17	支払手数料	
19,425	18	通信費	
7,728,588			7,728,588

3

得点

3点×14=42点